

人 チーム 制度



時間制限のある働き方を続けるには??

課員とともに模索中!

日本工営（株）大阪支店 草場 浩平さん

今回ご紹介するのは、日本工営（株）大阪支店の草場浩平課長。2歳の息子を育てつつ、女性の多い部署で課長職をされています。「時間制限のある働き方」と向き合いながらの管理職の仕事について伺いました。

これまでの経歴と、グループの特徴を教えてください。

私は平成 11 年度に入社し、以降ずっと環境の仕事をしています。平成 12 年度から札幌支店に 12 年間勤務しました。その後、平成 24 年度に大阪支店に異動、平成 26 年度から課長職をしています。

環境系の部署は女性比率が（比較的）高いのですが、大阪支店環境グループでは、派遣スタッフも含めると現在男性 7 名、女性 6 名と、約半数が女性という珍しいグループです。

このうち、子育てや介護によって時間制約のある課員は 4 名で、育休、産休による復帰も経験しています。昨年度も、妊娠中のスタッフが 2 名いました。

ご自身も子育て中ですね。どのように働いていますか？

現在 2 歳になる息子がいます。朝は 4 時頃に起床、家族が起きないうちにゴミ出し等をして、始発付近で出社しています。仕事は 18 時頃までに切り上げ、家に帰ってから子供をお風呂に入れ、寝かしつけをしています。保育園の送り迎えは妻がしていますが、妻も働いているので、都合がつかないときは自分がすることもあります。

グループの紹介

メンバー：課長、課員 12 名

（計 13 名）

年齢構成：20 代 3 名、30 代 4 名
40 代 4 名、50 代 1 名、
60 代 1 名

男女比：男性 7：女性 6

主な業務：環境アセスメント、
環境保全、緑化等



「時間制限のある働き方」をする課員を持つ苦労、またご自身でもそのような働き方をされていて大変なことはありませんか？

社員に関しては、子育て中であろうとなかろうと、やるべき仕事の量はかわらないため、それだけの仕事をこなすプレッシャーや周囲への迷惑を考えがちです。自分でも実感しているところですが、時間制限があることで、仕事の効率は明らかに上がります。子育て等の理由で辞められた派遣スタッフの方の中には優秀な人材が多いとも感じており、時短等の条件が付いてもスキルの高い方は積極的に受け入れたいと思っています。

また、出張や現地作業が多い仕事であるため、現地専属のスタッフ・課員の中でスケジュール調整する必要があります。時間制限があるスタッフは、ご家族とも調整されているようです。

自分が 18 時頃に退社しているので、夕方以降の課員の稼働管理が難しいことが難点ですが、携帯にはメールを転送して確認していますし、何かあれば電話で指示等するようにしています。課長が早く帰ることで、課員も早く帰る意識付けができればと思っています。

幸い、周囲から課員が早く帰ることに一定の理解は得られており、本人たちも働きやすいと言ってくれています。働く環境づくりというのは大切ですね。

ポジティブですね！

それでもありませんが（笑）やはり、これからの時代、いろんな事情を持つ人が、公平に働くことができる会社が求められるだろうと感じています。公平に、というのはとても難しい。少しずつ改善されることを期待します。なお、弊社では在宅勤務制度も始まりましたが、やはり家での作業は効率が落ちるので、まだまだ試行錯誤が必要かと思えます。

建設コンサルタント業界に対して何かご要望などはありますか？

多様な働き方の希望に沿いながら多くの方に働いていただくためには、それに応じた待遇の準備が必要と実感しています。様々な働き方の選択・変更が柔軟にできるようになれば、この業界で継続して働く人が増えるのではと思っています。

